

復興の進展と今後の方針について

資料3-2

		～7月中旬	～8月末	～9月末
帰還に向けた検証委員会		○委員会設立(7/10)。 中間答申の概要： (1) 除染作業の進捗状況と放射線測定結果 ・除染作業は宅地・道路・農地と対象箇所の除染は一通り完了し、除染の効果は概ね出ている。 ・宅地の事後モニタリングの結果、面的な除染の効果が維持されている。 ✓宅地事後モニタリングで特異的なところについては、原因究明したうえで、フォローアップ除染の検討が必要。 ✓農地事後モニタリング、村独自による測定の継続、引き続き総合的な除染効果の評価を進めていく必要あり。 (2) 放射線の健康影響 ・避難指示解除準備区域における外部被ばく線量は、年間1~2mSvと推定され、極めて限られていると考えられる。 ✓希望する住民を対象とした外部被ばく線量のモニタリング、被ばく線量をもとにしたきめ細かい相談事業の充実が必要。 ・内部被ばくは、食品検査や流通食品のコントロールが十分に行われており、内部被ばくが高くなる状況ではない。 ✓きのこなど一部の食品については汚染が存在。これらを継続的に摂取することで内部被ばく線量が増加する可能性あり。継続的な食品検査やWBC検査の継続が必要。 (3) 日常生活に必須なインフラ及び生活関連サービスの復旧状況 ・日常生活に必須なインフラ及び生活関連サービスについては概ね復旧。 ✓交通環境や医療体制の整備など、引き続きインフラや生活関連サービスの充実を進める必要あり。 ✓着実な村の復興施策を推進できるよう環境整備や財源確保などが必要。	○中間答申とりまとめ(8/5)。	
除染	事後モニタリング 宅地	○宅地回りの測定終了。順次、測定結果を各戸に報告。		
	事後モニタリング 農地		○農地の測定終了。順次、測定結果を各地権者に報告。(～8月末)	
	事後モニタリング 道路・森林・草地		○道路や森林・草地の測定終了。(～8月末)	
	フォローアップ除染	○除染手法の検証のための試験試行(計6件)。	○対策箇所の抽出、要因分析及び実施方法の検討。(8月下旬頃～)	○フォローアップ除染の実施。(9月頃～)
	ガンマカメラ測定	○20km圏内の測定終了(7/11)。	○測定結果とりまとめ(8月下旬頃)。	○全世帯に結果を報告(9月上旬頃)。
放射線の健康不安対策	モニタリングポスト 仮置場	○鍋倉仮置場及び大津辺仮置場の常時モニタリングシステム設置。	○糠塚仮置場、貝ノ坂仮置場に設置するモニタリングポストについて、国へ事業計画の申請(7/18)、国での審査。	
	モニタリングポスト 道路等		○新設を予定しているモニタリングポストについて、仕様等を検討中。	
	個人線量計	○希望者への個人線量計の貸与		
	食品等の検査	○食品検査・ゲルマニウム半導体検出器による水・土壌等の放射性物質濃度測定		
	健康状態の把握	○県民健康調査に基づく健康診断等。 ○甲状腺検査やホールボディカウンター(WBC)による内部被ばく検査。		
	個別健康相談等	○放射線に関する健康相談：長崎大学の保健師による戸別訪問による健康相談。	○相談員制度のため、国へ事業計画の申請(7/18)、国での審査。	

		～7月中旬	～8月末	～9月末	
インフラ・生活環境	道路	村道 宮渡早渡線	○改良工事終了。		
		村道 林長綱遠上線	○改良工事終了。		
		村道 毛戸川・吉野田和線	○道路横断暗渠(通水不能:糠塚方面分岐付近)の復旧。 ○舗装改修工事発注(6/19)。	○道路側溝の修復工事発注(8/7)。	○舗装改修工事及び道路側溝修復工事の完了(9月末頃)。
		村道 五枚沢・毛戸線	○舗装改修工事発注(6/19)。	○舗装改修完了(8/11)。	○路肩決壊部分の工事発注、工事開始(9月中旬頃)。
		村道 上滝・荻線	○落石による側溝閉塞の復旧。		○横断側溝の蓋剥離について次期補正予算計上により復旧予定。
		村道 五枚沢・貝ノ坂線		○舗装パッチングによる復旧完了(7/23)。	
		村道 田ノ入・貝ノ坂線		○未舗装区間の舗装工事発注(8/7)。	○舗装改修工事完了(9月末頃)。
		村道 熊越南・田ノ入線	○法面の土砂崩落・落石箇所への復旧。		
		道路の草刈り・枝打ち	○予算確保。	○五枚沢・毛戸地区の作業終了(8/11)。 ○国道・県道の草刈り作業の入札・事業者の決定(7/19)、作業完了(8/11)。	○荻・貝ノ坂地区の作業完了(9月末頃)。
		買物環境	ファミリーマート	○出店(24年12月)。	
新たな商業施設	○敷地造成(～11月下旬)。		○商業施設の基本設計終了。	○商業施設の実設計。	
合同会社かわうち屋	○移動販売開始(25年9月～)。				
コープふくしま			○20km圏内への配達も可能化。事前注文により、食料品や日用雑貨などが週1回配達。		
配達サービス	○新聞配達(松本新聞店・郵便局)の再開。 ○宅配サービス(佐川急便・ヤマト運輸(村内全域)、郵便局(居住制限区域除く))の再開。				
医療・福利厚生サービス	○「ゆふね」が再開(24年4月)。現在、6科を診察(内科と歯科は常時)。 ○「ゆふね」内のデイサービスが再開(24年4月)。 ○避難指示解除準備区域内への診療バスの運行開始(26年5月)。 ○一人暮らしの高齢者に対する外出支援(25年7月) ○かわうちの湯再オープン(26年4月)。 ○温泉バスの運行開始(26年5月)。 ○村の保健師やケアマネージャーによる戸別訪問による健康相談(放射線に関するもの以外)の実施。	○相談員制度のため、国へ事業計画の申請(7/18)、国での審査。 ○特別養護老人ホーム敷地造成工事について、事業採択(8/15)。			

		～7月中旬	～8月末	～9月末
不通話地域の解消		○携帯電話の不通話地域解消に向けた事業者との調整。	○さらなるエリア化に向けて、村と他の携帯電話事業者との交渉	○20km圏内の不通話地域の一部でサービス開始(9月末頃)。
コミュニティ機能	見守りパトロール	○見守りパトロールを通じた村内の防犯と高齢者世帯への声掛け。		
	集会所	○五枚沢集会所の本体工事終了。外構工事中。	○8区五枚沢集会所の竣工。 ○8区毛戸地区および7区集会所修繕に係る補助金交付決定(7/25)、入札(8/7)。 ○4区集会所の造成工事に係る補助金交付決定(7/25)、入札(8/7)。 ○コミュニティセンター修繕設計について、事業採択(8/15)	
	研修センター		○研修センターの機能回復(修繕)について、事業採択(8/15)。	
住宅	仮設住宅	○仮設住宅・借上住宅の入居期限を平成28年3月まで延長。		
	復興公営住宅	○復興公営住宅の入居者決定(7/9)。 ○敷地造成(～11月頃)。	○住宅建築事業者からの提案(7/31)。 ○住宅建築事業者の決定(8/6)。	○基本協定の締結(9月中旬頃)。
	新築補助	○新築に対しては村独自に補助(新築金額の15%。上限400万円)。		
水の安心		○沢水・湧水を利用している家庭向けに、国の補助金及び東電賠償により井戸掘削又は浄水器の購入を補助。 ○飲料水の放射性物質濃度の測定(第3区食品放射能検査場(高山クラブ駐車場内))。	○補助申請件数の増加。(井戸掘削の補助は、7月末時点で申請件数は59件、工事終了件数は31件、うち20km圏内は、申請件数は6件、工事終了件数は3件)	
廃棄物	廃棄物回収	○家屋の片づけゴミの回収完了。	○農業系廃棄物の回収事業者の選定。	○農業系廃棄物の回収開始。
	焼却炉の運転	○焼却炉の設計完了、工事中(～12月頃)。		
産業振興・雇用	用水路	○下川内(約81ha)での営農に向け、損壊していた用水路を補修(平成26年4月)。		
	実証作付	○20km圏内での実証作付開始(水稻)。		
	土壌サンプリング	○20km圏内の農地の土壌サンプリング調査開始。	○30箇所調査終了。	
	営農再開支援事業		○営農再開支援事業の進展。 - 除草作業等の実施計画策定 - 農地の除草作業の開始	
	獣害対策	○イノシシ等の捕獲・処分		

		～7月中旬	～8月末	～9月末	
	摂取制限・出荷制限		○非結球性葉菜類・結球性葉菜類・アブラナ科花蕾類・カブの出荷制限・摂取制限解除に向けた県のモニタリング検査計画を作成。対象となる野菜の試験栽培開始(8月末頃～)。		
	企業誘致	○菊池製作所(成形・金属加工等)、KiMiDoRi(野菜工場)、コドモエナジー(蓄光・蛍光建材の製造)の操業開始。 ○村内への進出を予定する7社に対して補助金の採択決定。 ○工業団地の整備に向けた準備。			
	太陽光発電事業		○平伏森地区、糠塚地区での太陽光発電事業について、農業振興地域の変更及び農地転用許可みなし(農林水産大臣の同意)を取得(8/5)。		
	教育	教育環境の整備	○興学塾の実施(平成25年4月～)。 ○安心できる給食提供のための川内中学校の調理設備改修(平成26年1月)。 ○教員住宅・村営住宅の修繕(先生の生活基盤の整備)(平成26年3月)。 ○川内保育園の遊具更新(平成26年3月)。 ○川内小学校・保育園合同運動会(平成26年5月)。 ○小中学校・保育園への就学支援(通学バスの自宅付近までの運行など)。 ○高校への通学に対する通学費や下宿費の補助。	○川内中学校グラウンド整備と衛生設備改修について、国へ事業計画の申請(7/18)、国での審査。 ○かわうち保育園暖房設備改修設計について、事業採択(8/15)。	
		教育機関の来村		○大智学園高校の部活合宿(約50名)の再開(8/5～7)。	○長野県の農業高校の修学旅行(164名)が来村(9/25)。
	村による生活支援	○地域振興券を村で措置(20km圏外につき、一人当たり10万円、予算額約2億円(26・27年度合計))。			